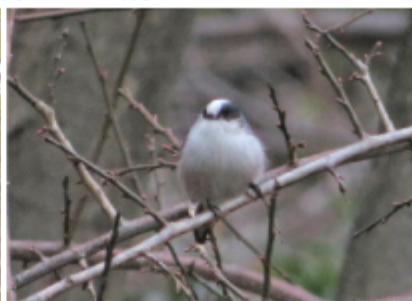


ムクノキの実を食べるクリハラリス



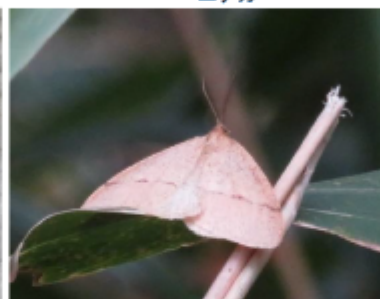
エナガ



ロウバイの花芽のそばにいたナミテントウ



アキアカネ



クロスジフユエダシャク



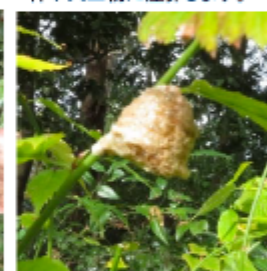
ハラビロカマキリの卵鞘  
幹や人工物に産卵します。



コセンダングサを吸蜜するウラナミシジミ



ジョロウグモ



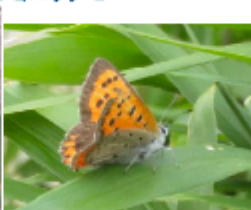
オオカマキリの卵鞘  
草の茎や細い枝に産卵



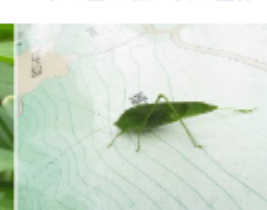
ヒメジュウジナガカメシ



タブノキの葉裏にいたアオスジアゲハの幼虫



ベニシジミ



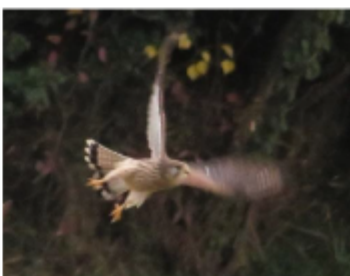
ヒメクダマキモドキ



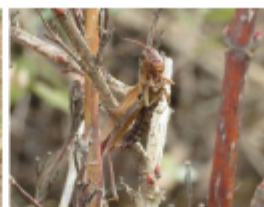
ジョウビタキ♀



カワセミ♂



チョウゲンボウ



モズのはやにえ 俣野遊水地 全てコバネイナゴでした。



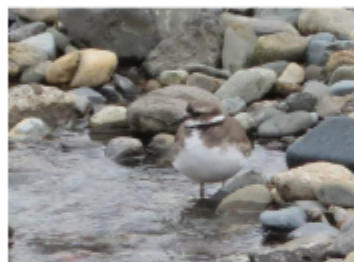
カワセミ 俣野遊水地



ハクセキレイ(俣野) 啜えているのは何かな？



イソシギ 境川 気持ち良さそう



イカルチドリ 境川



コガモ 境川



カイツブリ幼鳥 下飯田遊水地  
ここで産まれたのかな？



アオサギ 下飯田遊水地外周道路



ツグミ 下飯田遊水地



マガモとカルガモ 下飯田遊水地



ホオジロ♂ 下飯田遊水地



ホオジロ♀



キンクロハジロ 下飯田遊水地



カイツブリ



ハシボソガラス

スズメ  
和泉川左岸



モズ♀ 和泉川右岸

# 天王森泉公園 生き物調査と自然観察会 12月

2021.12.7 (火) 晴れのち曇り  
参加者 12人 9:00~15:30

途中で雨が降ったりと不安定な天気でしたが、参加者も多くたくさんの目で、いろいろなものを見つけることができました。

コース 野の花苑一見晴らしの丘一くわくわ森一森外周道路一俣野遊水地一飯田遊水地

※ 外来種は外とつけました。

**野の花苑** 冬になり花はほとんど終わり、千両・万両の赤や黄色の実が野の花苑を彩っています。



石落 ツワブキ



磯菊 イソギク



野路菊 ノジギク



山陰菊 サンインギク



15度を超える日もあったので、季節を間違えて咲いています。



秋明菊 シュウメイギク



小葉の立浪草 コバナツツナミソウ



野鳥たちが殖やしてくれる千両 センリョウと、奥の色付いた葉は岡虎の尾オカトラノオです。



白侘助 シロワビスケ



日本水仙 ニホンスイセン



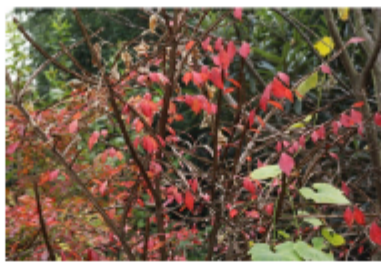
吉祥草 キチジョウソウ  
縁起の良い植物



万年青 オモト  
いつも青々と葉を茂らせる  
ことから縁起の良い植物



伊呂波紅葉 イロハモミジ



錦木 ニシキギ (見晴らしの丘)



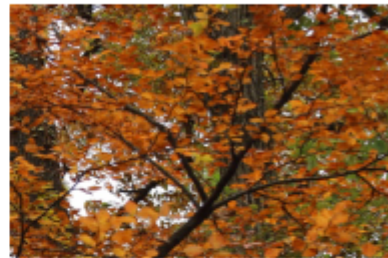
山法師 ヤマボウシ (見晴らしの丘)



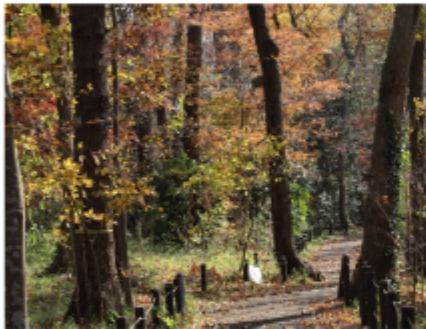
大島桜 オオシマザクラ (見晴らしの丘)



拳 コブシ (見晴らしの丘)



鎌柄 カマツカ (くわくわ森)



### くわくわ森

12月は紅葉が見事です。見晴らしの丘からくわくわ森へと入っていくと、木々の赤や黄色の落ち葉が舞い落ちて、その綺麗さに見とれてしまいます。  
遊歩道を歩くとカサコソと枯葉を踏みしめる音が伝わり、季節を感じることができます。



黄櫨 ハゼノキ (くわくわ森)  
ヒノキ林を伐採したら幼木がありました

秋はタネの季節です。なかでも対比する二色の視覚的刺激で鳥の注意を引くことを「二色効果」と呼びます。



榎 椎 椎 小高木 (落葉) 秋になると赤い果皮が裂けて、木の上で赤と黒のコントラストが目立ちます。



吐切豆 トキリヤメ (つる性多年草) 野山に生えるマメ科のツル植物。林縁の藪で目にします。赤いサヤからおいしそうな黒い実が現れるけれど、実は硬いタネで、鳥は騙されて食べてそのまま糞に出します。



真弓 マユミ



莢蒾 ガマズミ



南天 ナンテン



黒鉄騎 クロガネモチ



藪椿 ヤブツバキ



枇杷 ビワ

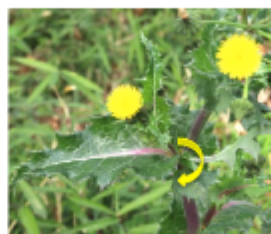


紅花襖櫻菊 ペニバナボロギク  
外アフリカ原産

森周辺道路



野芥子 ノゲシ  
柔らかそうな葉の付け根を見ると、茎の巻き方は、きれいに巻かず後方に飛び出していて三角形になる。



鬼野芥子 オニノゲシ  
外 ヨーロッパ原産  
葉の緑が濃く光沢があり、棘が痛い。茎を抱く葉の付け根は鋸歯があり丸まっている。

田んぼ・畑



背高泡立草 セイタカアワダチソウ  
外 北アメリカ原産



薺 ナズナ



仏の座 ホトケノザ

侯野、下飯田遊水地



草紅葉 チガヤの紅葉した葉



荻 オギ



葦 ヨシ

